

湯野浜100年計画

温泉資源を有効活用した
脱炭素地域づくりについて

湯野浜100年株式会社
阿部公和

湯野浜温泉

山形県鶴岡市湯野浜地区



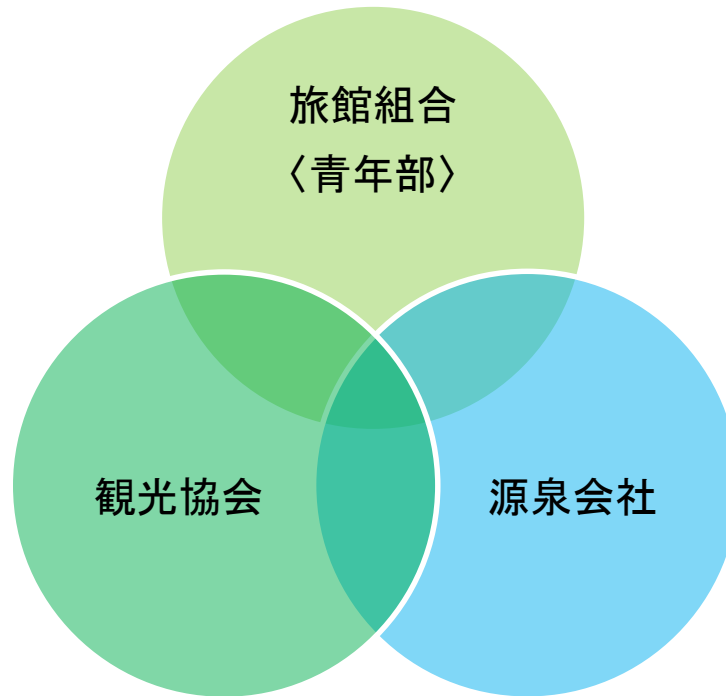
奥州三楽郷
歴史ある温泉街



- ☆湯量豊富な温泉
- ☆日本海の美しい海
- ☆綺麗な白浜を擁した海水浴場

15年前

湯野浜の組織



まとまりのない地域

旅行業が中心の観光キャンペーン

旅館形態の同質化

たとえば

湯野浜は？

発想の転換

同一方向を目指す→足元を見つめる

地域とは？

湯野浜とは？

若者の不満

若い世代が増える→やる気→現状批判

自己反省→覚悟＝本気のやる気



湯野浜100年計画

湯野浜100年計画

100年前も、今も、100年先も変わらない湯野浜の価値

本質

海と白浜と温泉

湯野浜100年株式会社＝旅館組合青年部

YD部 YFD部 YC部

湯野浜100年計画

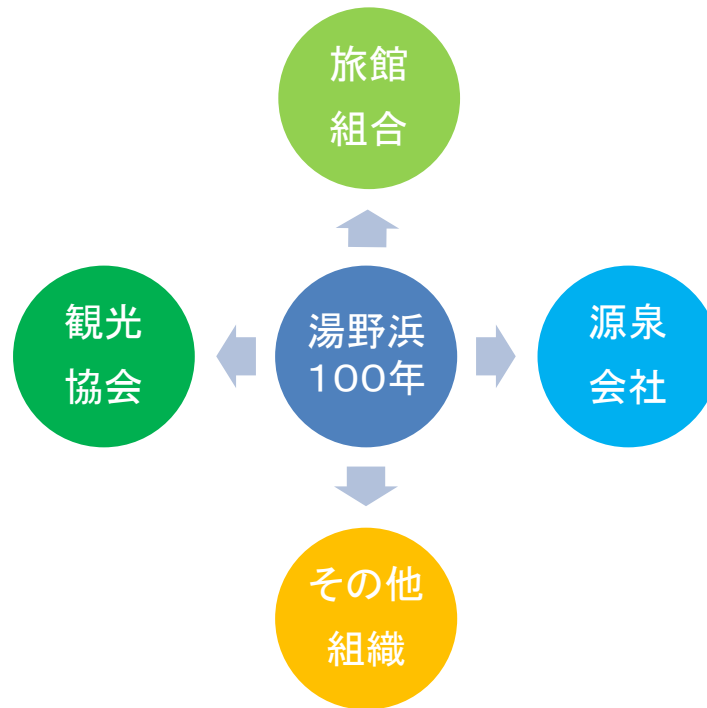
考える<行動

理念の重要性

事業

温泉入浴教室 湯野浜アイス 散策路整備

湯野浜の裏組織構造



7年前

湯野浜100年計画

事業拡大

湯野浜100年株式会社の主体
旅館組合青年部→観光協会

新生 湯野浜温泉観光協会

温泉資源を有効活用した 脱炭素地域づくりについて

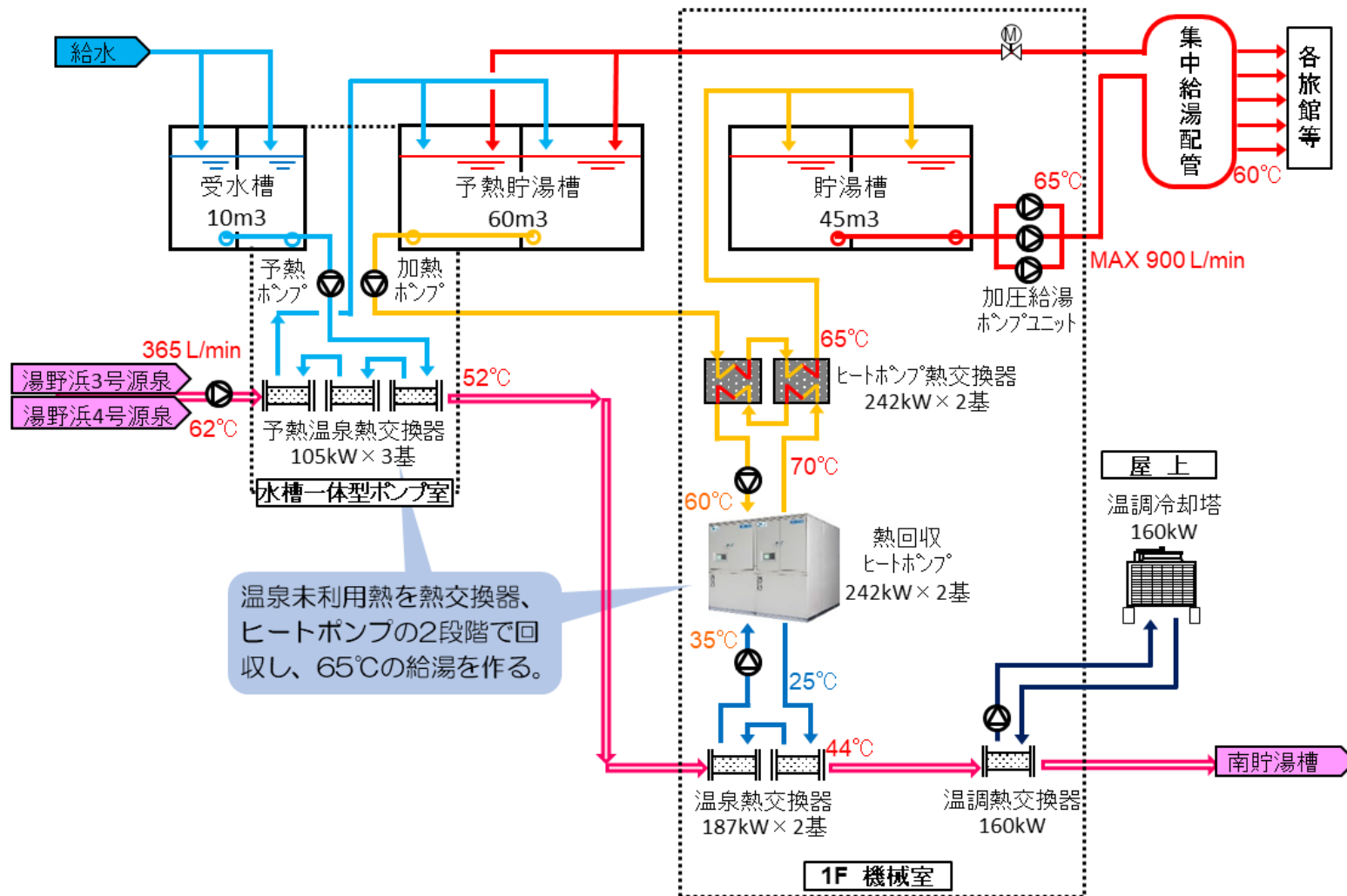
温泉の課題

2014年度

**環境省の大規模CO₂削減ポテンシャル調査・対策提案事業
の対象地域に選定され、温泉を活用したCO₂削減の可能性、
省エネ対策の検討を実施**

CO₂大幅削減事業

集中給湯事業(共同インフラ)



CO₂大幅削減事業

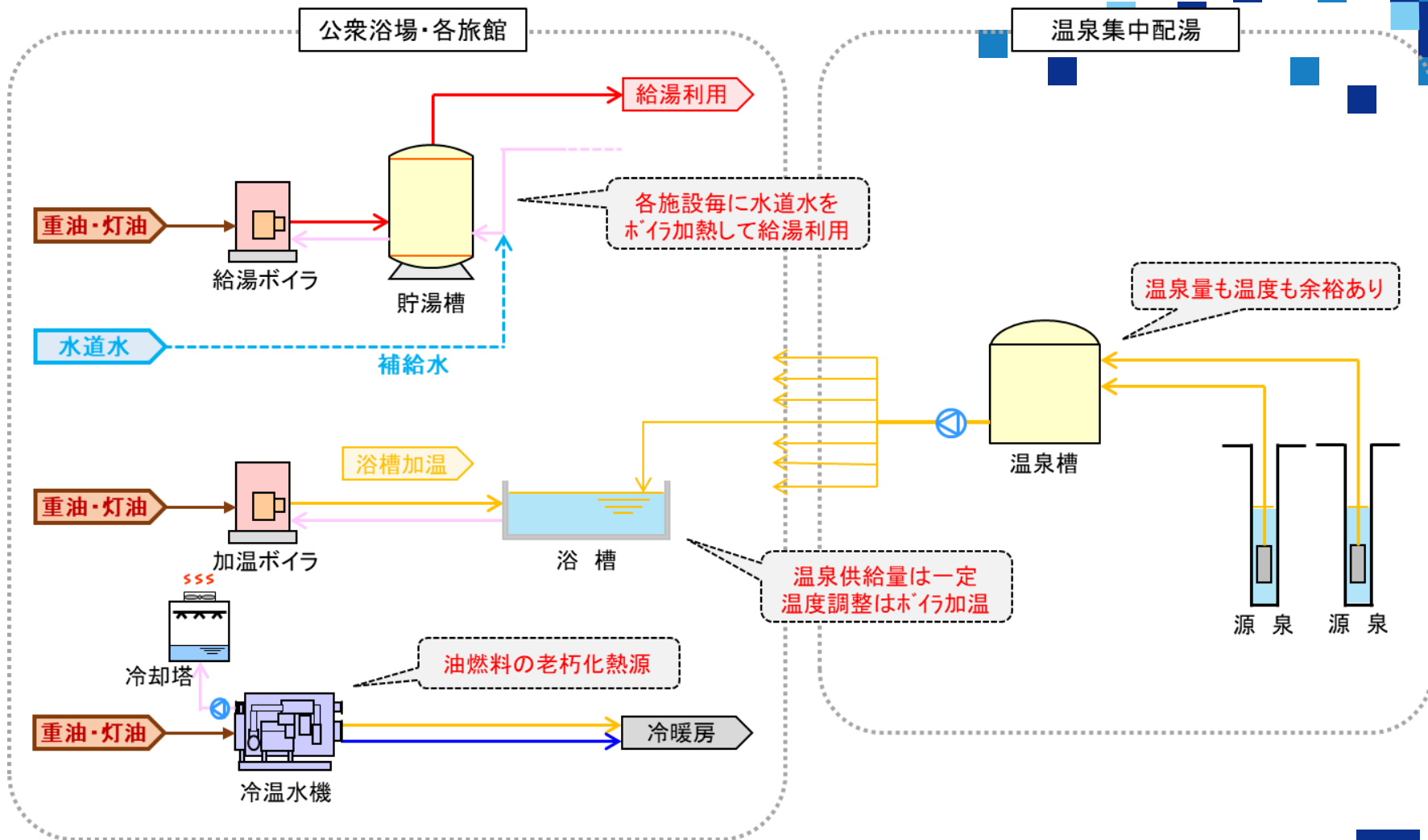
集中給湯事業(共同インフラ)

集中給湯設備で作った給湯を、
地域内に埋設した約3.5kmの集中給湯配管を通じて12施設に供給している。



CO₂大幅削減事業

事業概要（事業前）

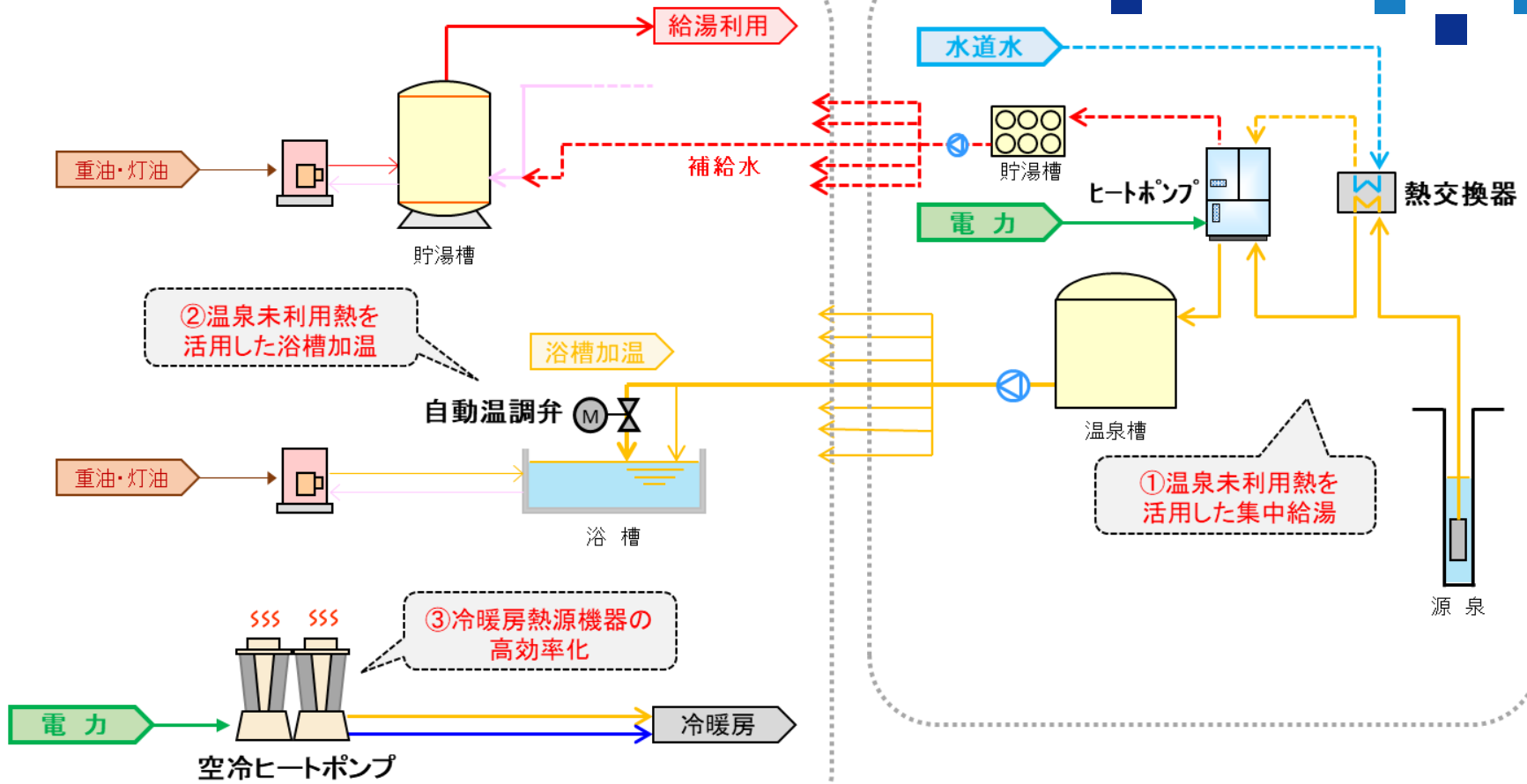


CO₂大幅削減事業

事業概要（事業後）

公衆浴場・各旅館

集中給湯・温泉集中配湯




CO₂大幅削減事業

実施までの経緯

2014年度

環境省の大規模CO₂削減ポテンシャル調査・対策提案事業の対象地域
に選定され、温泉を活用したCO₂削減の可能性、省エネ対策の検討を実施

- 
- ・ 中小規模施設を含めた温泉街全体で
集中給湯事業を実施することで、大きな省エネ効果が得られる。
 - ・ インフラ整備には大きな資金が必要となるため、公的支援が必要。

2015年度

湯野浜温泉源泉(有)と三機工業(株)とコンサル会社の3社で、事業計画の策定

2016年度

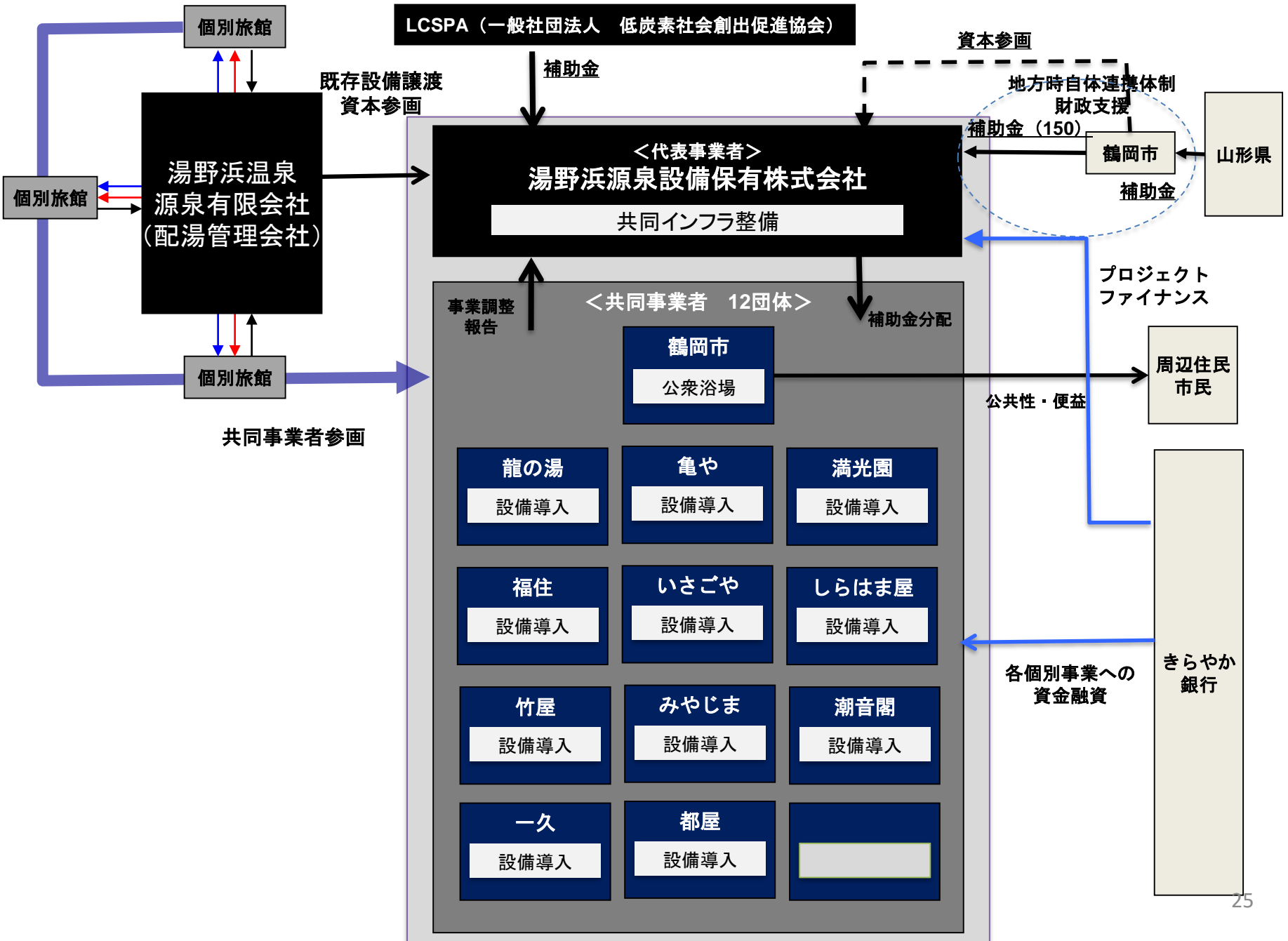
環境省の補助金、山形県・鶴岡市の出資等の財政支援を得て、**事業実施**へ

CO₂大幅削減事業

事業概要

- 参加事業者： 代表事業者) 湯野浜源泉設備保有(株)
 共同事業者) 鶴岡市、温泉旅館・民宿11軒
- 総事業費： 約11.5億円(税込)
 共同インフラ事業) 8.64億円(税込)
 個別対策) 2.86億円(税込)
- 設計・施工： 三機工業(株)
- 事業期間： 2016年9月～2017年2月(工事期間)
- 国庫補助： 平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
- 自治体補助： 平成28年度鶴岡市温泉街未利用熱活用事業補助金
(平成28年度山形県エリア供給システム構築支援事業費補助金)
- 事業内容： 集中給湯施設の新設(共同インフラ)
 集中給湯配管の敷設、集中温泉配管の増強(共同インフラ)
 各施設エネルギー設備の見直し等(個別対策)

源泉有限会社+環境省・山形県・鶴岡市 事業スキーム

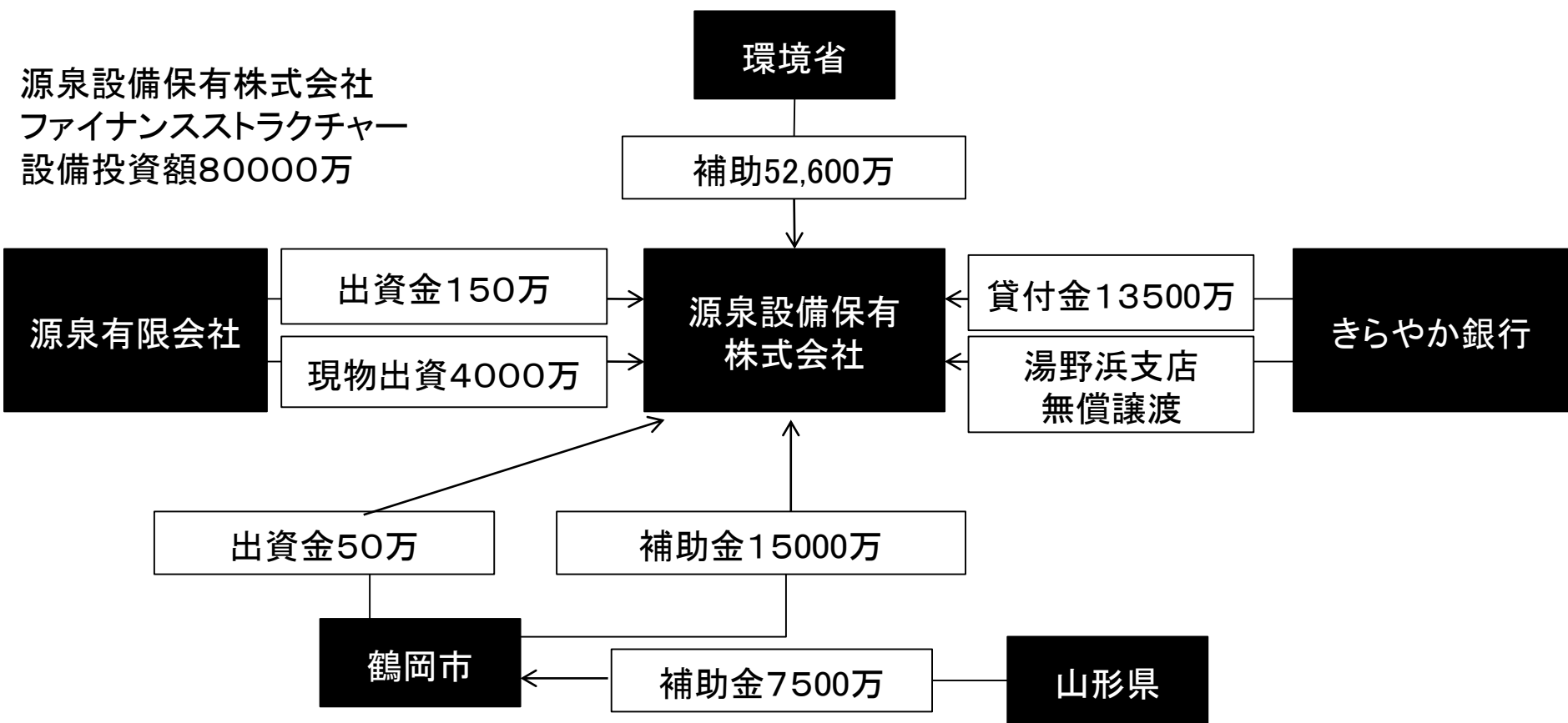


源泉有限会社＋環境省・山形県・鶴岡市 ファイナンススキーム

事業名

平成28年度

省CO2型社会の構築に向けた社会ストック対策支援事業のうち
地域の未利用資源等を活用した社会システムイノベーション推進事業



地域課題

地域コミュニティのマイナス要因

- ・人口減少・少子高齢化
- ・高齢化率40%
- ・買物難民

地域産業のマイナス要因

- ・旅館の集客力低下
- ・旅館の人材不足

× マイナス＋マイナス＝2マイナス
○ マイナス×マイナス＝プラス

LL

地域高齢者の旅館への就労
福利厚生充実

- ①物販→社販
- ②食事→社員食堂
- ③運動→プログラム作成
- ④温泉入浴→入浴法の確立
- ⑤健康管理→ヒューマノーム解析

湯の浜100年計画
＋
リカバリー

温泉地としての魅力向上

- ②→ローカルレストラン
- ③→アクティビティ
- ④→リラクゼーション
- ⑤→ヘルス케어
- ⑥ プロモーション

地域高齢者の旅館への就労

福利厚生充実

- ①物販→社販 旅館ストックを販売
湯野浜100年株式会社⇒各施設対応
- ②食事→社員食堂 地域食材の活用 基礎調理技術の習得
湯野浜100年株式会社＋東京會館⇒下期具体化
- ③運動→プログラム作成 いきいき体操のブラッシュアップ等
湯野浜100年株式会社＋KKHK⇒下期具体化
- ④温泉入浴→入浴法の確立 国民温泉保養地の認定→新湯治プロジェクトと連携
温泉の効能検証 基礎体温を 1°C 上昇させるには？
湯野浜100年株式会社＋前田真治＋メタジェン＋環境省⇒一部具体化
- ⑤健康管理→ヒューマノーム解析 旅館就労高齢者の健康状態
湯野浜100年株式会社＋メタジェン⇒下期具体化

リカバリーコンセプト→別紙参照

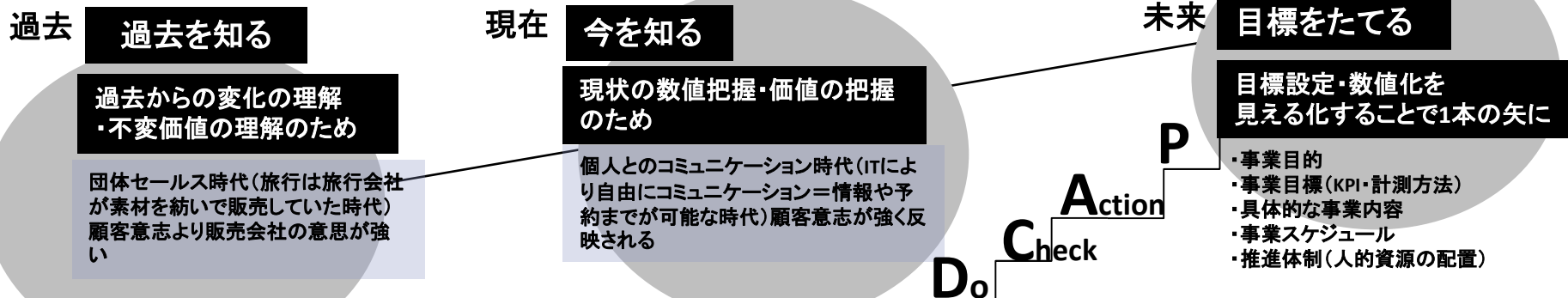
湯野浜100年株式会社＋KKHK

温泉地としての魅力向上

⑥プロモーション→M&B

湯野浜100年株式会社＋鶴岡商工会議所＋鶴岡市観光連盟⇒実行中

旅行販売会社任せのセールス型観光から、地域が関係会社を活用するツーリズムへ



マーケティング-市場開拓 自分から自分のイメージを相手に伝える努力

	市場を知る	仮説を立てる	仮説をたてた市場に聞いてみる
目的	実際当地にきている人のアンケートや動態調査で来ている人を知る	来訪者の把握をし、性別、年齢別、エリア別で嗜好や行動に差があるかを分析	想定するターゲットに絞り、アンケートやモニターツアーなど行い感触を確かめる調査。
手段	来訪者調査、GPS動態調査	地域の方と専門家による分析に対するディスカッション	WEB調査(イメージや具体的商品に対する調査)、モニターツアー
内容	定量調査(定性的要素含む) 性・年齢別 エリア別→量的把握 嗜好・ライフスタイル行動特徴→質的把握	3C分析+ CO Operator(協力者) 自社:強みの洗い出し 競合(ベンチマーク)(強み、顧客属性)顧客:既存顧客(ニーズ、不平、不満、不安の洗い出し)	モニタリングの結果をもって個別の事業計画を作成し、DOへ移す ・事業目標(KPI・計測方法) ・具体的な事業内容 ・事業スケジュール ・推進体制(人的資源の配置販売体制など)

へ~こんな人が来てるんだ

年代、地域別で違う~

ウケそうかな??

ブランディング-存在意義 相手に自分のイメージを持ってもらう努力

	資源を知る	資源を選択する	資源を演出する
目的	当地の資源、歴史、歳時記、施設、季節別魅力、イベント、人材。見えるもの見えないものの棚卸し	来訪者の特性にマッチしそうな資源を選択する。地域合意のもと資源の選択を実施する。	来訪者の特性にマッチしそうな演出(デザインやキャッチコピーなど)をほどこして市場にリリースする
手段	地域関係者による四季の素材の洗い出しシートの作成 地域のほこり 専門家による地域資源の整理	地域資源整理を四季で整理する。専門家(編集者)に依頼	地域関係者で合意する
その他	ほか)パンフなど表向きに作成しているものの振り返りも行い、外に発信している内容を振り返る	ほか)写真素材の有無を確認し顧客が求める素材があるか確認、たいてい顧客と価値ズレで新規撮影が必要になる	ほか)地域で統一感を持たせるためには、ポスターなどわかりやすい広告物の案を会議で選択させる

連携

連携

どのように?

マーケティング

Plan

ブランディング

どんなものを?

そして 2018

会社設立に向けて

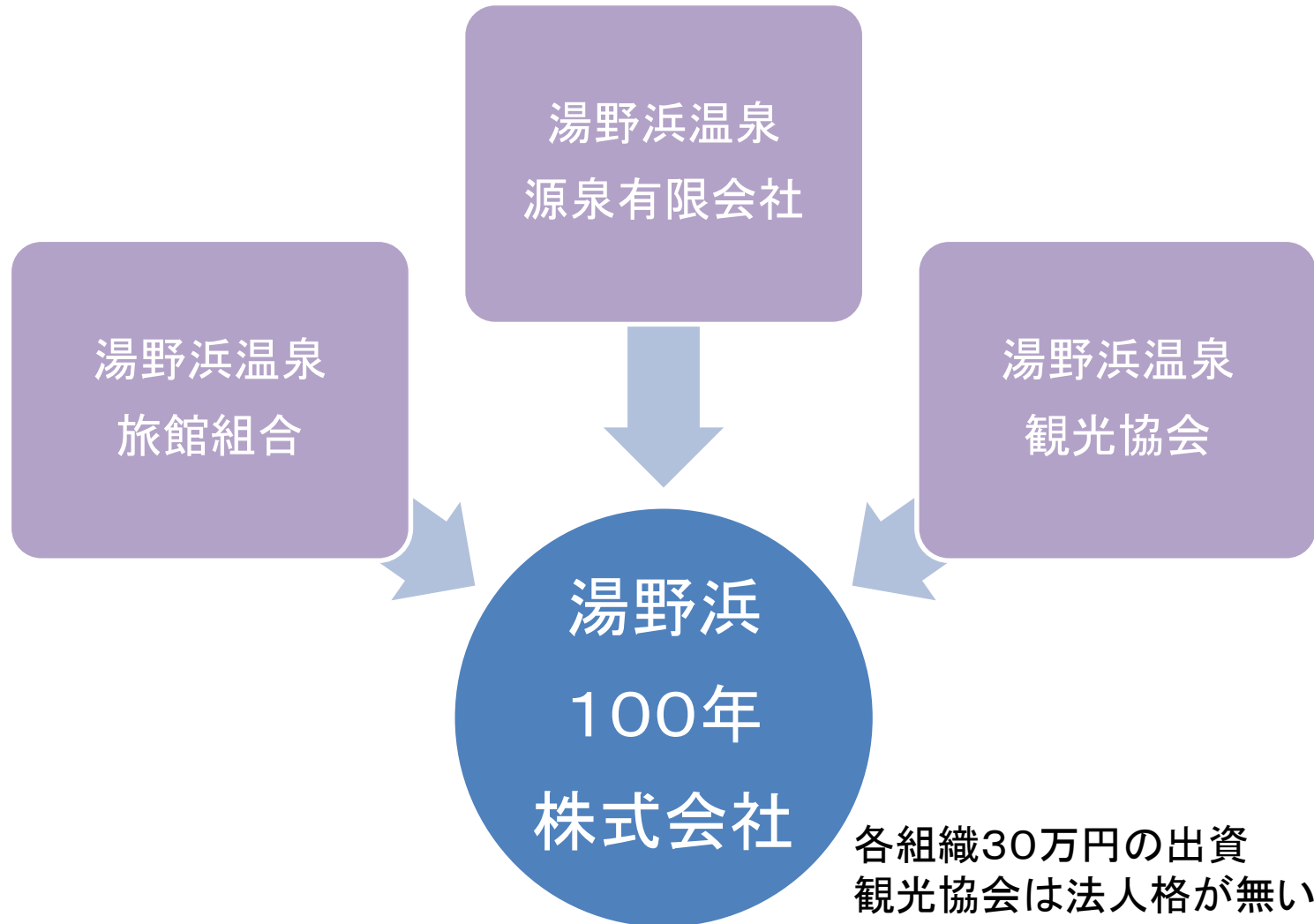
- 湯野浜100年計画に基づく湯野浜温泉地区の持続的発展が可能なコミュニティの形成
- 湯野浜100年計画に基づく湯野浜温泉来訪者の増加
- 湯野浜温泉各組織が連携して進める総合戦略の立案と運用管理



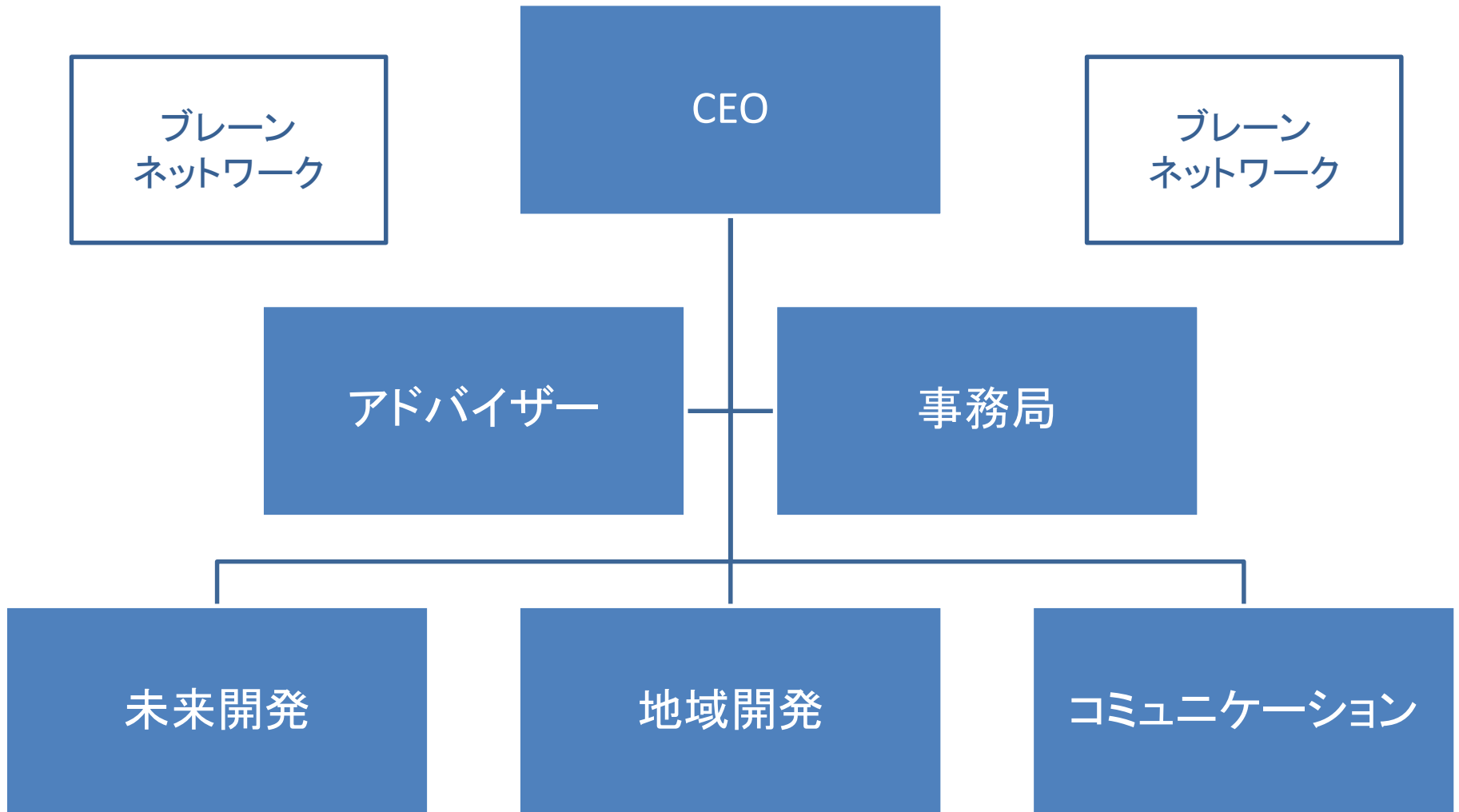
Local Management Company

湯野浜100年株式会社

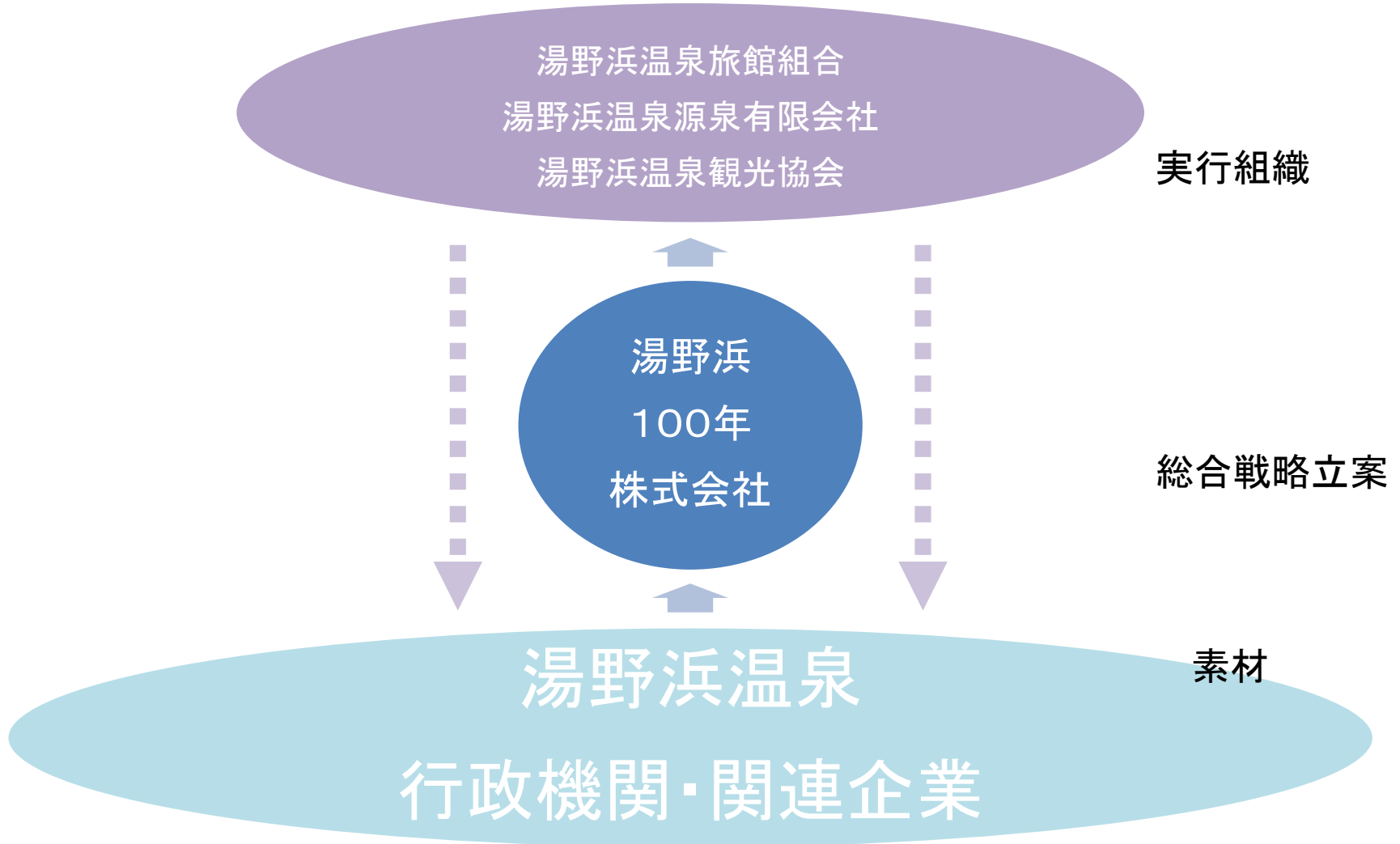
資本



組織



地域内業務分担



新・湯治

国民保養温泉地地の認定

日本の名湯百選の認定

湯野浜源泉設備保有会社
CO2 23%削減により

経済産業省

2018年度 省エネ大賞

資源エネルギー長官賞 受賞

100年前も、今も、100年先も
変わらない湯野浜の価値

海と白浜と温泉

地域循環共生圏

ご清聴ありがとうございました。